

## アサーティブなコミュニケーションの要因についての研究

アサーティブなコミュニケーションとは、自分の意見も主張するが相手の意見も尊重する自他尊重のコミュニケーションである。本研究では、行動と態度の2つの側面からアサーションを捉え、家族関係と家族環境がアサーティブなコミュニケーションに影響を与える要因であると仮説を立て検討を行う。

家族の関係を家族関係単純図式投影法(水島,1978)を使用し分析を行った結果、現実の家族図式については「3者接近型」「母子接近型」「分散型」の3パターンが、理想の家族図式においては、「密接型」「3者間境界型」「3者間均等型」の3パターンが判明した。その後、家族の関係とアサーション行動、アサーティブマインドスケール(以下AMS)の関連について検討を行った。分析の結果、男性のみ家族成員がそれぞれバラバラな距離であると認知している方が、家族の距離が近いと認知している人よりも自身から説得や交渉といった相手に歩み寄ろうとするアサーション行動を行う傾向があることが明らかになった。また家族環境とアサーション行動・AMSにおいて相関係数と重回帰分析を行った結果、家族環境の感情表出性との間にそれぞれ多く関連がみられた。また、重回帰分析の結果からは、家族成員間の葛藤と家族の独立性はAMSの自己表現に対する肯定的態度との間に有意な影響が認められた。このことから、アサーティブな態度と行動が家族環境から受ける影響については多少の差異があることが明らかになった。